

## 教育課程特例校による特別の教育課程の編成の方針等について（英語活動の実施）

### 1 岡崎市における教育課程特例校指定の沿革

岡崎市では、英語で自分の思いや考えを伝え合うことができる「英語が話せるおかしな子」の育成を目指し、平成22年度より教育課程特例校の指定を受け、小学校第1学年から第6学年で「英語活動」を実施してきました。

平成31年度以降、学習指導要領の先行実施に伴い、第5、第6学年で外国語科の授業時間数が週2時間に増えたことを受け、教育課程特例校による特別の教育課程の編成を小学校第1学年から第4学年までに変更しました。

### 2 岡崎市における小学校第1学年から第4学年での取組

現在岡崎市では、小学校第1学年から第4学年において「英語活動」の授業を行っています。

第1学年と第2学年では、「生活科」の時間を35（第1学年は34）時間を「英語活動」に充てています。小学校第3学年と第4学年では、「総合的な学習の時間」35時間を「英語活動」に充てています。

【資料1】岡崎市の教育課程（基本案）

区分	各教科の授業時数										特別の教科・道徳	特別活動の授業時数	総合的な学習の時間数	外国語活動の授業時数 + 英語活動の授業時数	総授業時数
	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育	外国語					
第1学年	306		136		68	68	68		102		34	34		0+34	850
第2学年	315		175		70	70	70		105		35	35		0+35	910
第3学年	245	70	175	90		60	60		105		35	35	35	35+35	980
第4学年	245	90	175	105		60	60		105		35	35	35	35+35	1015
第5学年	175	100	175	105		50	50	60	90	70	35	35	70		1015
第6学年	175	105	175	105		50	50	55	90	70	35	35	70		1015

各学年における「英語活動」では、毎日10分の帯時間に岡崎市小学英語研究委員会の自作映像教材『OK English（約8分間）』を視聴することで、週1コマの授業時間としています。映像教材の内容は、英語の歌、フォニックス、リズムに合わせてネイティブスピーカーの後に単語や文を発音する活動、実際



【資料2】OK English

に動作をしながら学級の中で他の児童と会話をする活動など、多岐にわたります。各学年の発達段階を考慮しながら、学級担任とともに映像教材を繰り返し視聴することで、英語の発音や基本的な表現に慣れ親しんでいます。

### 3 本校の取組

羽根小学校では、毎日8時20分からの10分間を「英語活動」の時間としています。

8時20分になると各学級では係の児童が教室用PCを操作し、自分たちで学習を始めることができます。児童はネイティブスピーカーと児童役の英会話に合わせて一緒に英語を口ずさんだり、映像からアルファベットを見つけたりするなど、英語に慣れ親しむ様子が見られます。低学年の児童ほど、ネイティブが話す英会話を丸ごと受け入れ、聞いた通りの発音で発話する様子が見られます。時には、映像教材の視聴後、習ったばかりの表現「Here you are?」「What sports do you like?」などを使って、担任との英会話を楽しむ姿やみんなで歌っている姿が見られます。



1・2年生はネイティブスピーカーのALT (Assistant Language Teacher) による授業を年5回程度行い、歌やゲーム、手遊びなど、英語に慣れ親しむ活動を中心に行っています。

【資料3】羽根小の外国語活動の指導計画

	重点目標	学習内容・教材		総時数
第1学年	歌やゲーム・チャンツを通して、英語に慣れ親しむ。(英語活動)	OK English 視聴 ※		34
第2学年		OK English 視聴 ※		35
第3学年	歌やゲーム・簡単な会話などを通して英語を聞いたり話したりすることに慣れ親しむ。(英語活動+外国語活動)	OK English 視聴	Let' s Try ! 1	35+35
第4学年		OK English 視聴	Let' s Try ! 2	35+35
第5学年	相手の言いたいことを聞き取ったり、自分の思いを伝えたりすることを楽しむ。(外国語科)	NEW HORIZON Elementary 5		70
第6学年		NEW HORIZON Elementary 6		70